

Bulletin  
of  
Junior  
College  
Library  
Association

私立短期大学図書館協議会

# 会報

発行者：竹内 紀吉  
発行所：私立短期大学図書館協議会  
〒194-0294 東京都町田市常盤町3758  
桜美林大学・桜美林短期大学図書館内  
電話 042-797-2661

2001. 7 No.49

## 会長就任にあたって

竹内 紀吉

(千葉経済大学総合図書館長)



私は県立図書館と市立図書館の現場経験のなかで育って来た者で、図書館人としては公共図書館をバックグラウンドにもつ人間である。そういう経歴の者が私短図協の会長という要職を引き受けることに、正直な所、かなりの戸惑いと不安を覚えている。

その上、前任の前園会長をはじめ、歴代の方々は館界に多くの実績を残され、その業績から推されてこの要職に就かれてきた。諸先輩に比較できるほどの業績はもとより私にある訳がないし、短大、大学の図書館にかかわるようになったといっても、現場に携わることのない管理職として十年の馬齢を重ねて来たに過ぎないのである。私ごとき者に私短図協の会長が勤まるはずが無いと、当初に感じた思いは、多少時間の経過した今になっても払拭できずにいるのだが、総会も終わり、時間は刻々と経過して行く。引き受けた以上、軽輩は軽輩なりのやり方でこの職務に邁進し、各位のご助力、ご協力をお願いして行くほかはないとやっとこの頃覚悟を決めたのである。

短大図書館を考える場合、私にできることは冒頭のべた公共図書館での経験を傍らにおいて、そこに照らして現状を考えたいということである。

幾つかの研修会でも既に語ったことだが、図書館が育つためにはこれを必要とする明確な意識をもったユーザーに支えられる必要があるのだが、長く公共図書館に身を置いてきた者から見ると、こうしたユーザーを得にくい事情が短大図書館にはある。税金という身銭を切っている市民の、図書館に向ける意識からすれば、学費を親に依存している多くの学生たちのそれは比較にならぬほど、

緩く、甘い。加えて2年すればこの社会の構成員は皆どこかへ散って行ってしまふのだ。短大図書館運営の難しさの最大の要因の一つがここにあるように思われてならない。

そういう点に思いを凝らすと、公共図書館員以上に、われわれがサービス活動に創意と工夫を注ぎ、これを徹底させねばならない立場にあることが見えてくる。

十数年前から公共図書館界に起こって来た合理化の嵐は、近年一段と厳しさを増して来ているが、遠からずこの風波は短大図書館にも及んでくるだろうとの予測に違わず、アウトソーシング、大学職員の削減などからんで、その影響は図書館にも及び始めている。

学生や教職員のなかに、図書館を支えてくれる多くのユーザーを作り出すために、この厳しい時期だからこそ私たちは積極的に働きかけなければならないだろう。

# 平成13年度 総会 開催

平成13・14年度の会長・役員選出

—新会長に竹内紀吉氏—

- 会 長 竹内紀吉（千葉経済大学総合図書館）  
 ○事務局 石川 亮（桜美林大学・短期大学図書館）  
 ○会 計 大田邦宏（共立女子大学・共立女子短期大学図書館）  
 （敬称略）

- 会報＝北海道地区  
 ●研修＝中国・四国地区

- 紀要＝近畿地区

標記の総会が去る5月24日東京の第二丸善ビル会議室において開催され、出席48館、委任状261館計309館が参加して報告及び議事がとり行われた。

総会は平塚豊氏（和泉短期大学図書館）の司会で進み、同氏の開会の辞に続き前園主計会長（青山学院女子短期大学図書館）が次のように挨拶した。

「短期大学図書館はどの地区も苦しい状況であります。短期大学自体も同じであります。長い図書館歴史では良い時期とそうでない時期があり、現在の予算減など苦しい中でも改善するところは全て改善し、この協議会で情報交換することにより更に工夫を見いだせることでしょう。参加した方はこの総会において何かを掴んでください。」

議長に三田村寿子氏（瀬木学園図書館愛知みずほ大学短期大学部）が選出され、記録人に石川亮氏（桜美林大

学・短期大学図書館）が指名された。始めに報告があり、「平成15年度以降の会長の担当地区について」前園会長から経過の説明があり、5月23日の理事会で「平成15年度以降も会長館を永続的に関東甲信越地区と決めることは適当ではない」と結論が出たと報告された。

議事に入り次の議題について各担当から説明があり、審議の後それぞれ承認された。

- ①平成12年度事業報告
- ②平成12年度決算報告及び監査報告
- ③平成13・14年度役員選出
- ④平成13年度事業計画案
- ⑤平成13年度予算案

選出された新しい三役員と業務担当地区は上述の通りである。その他の役員・地区理事については、別途記載する。



## 会長を辞任するにあたり

前園 主計（青山学院女子短期大学）

暗中模索の2年間でした。私短図協の会長就任も突然でとまどいましたが、それ以上に、過去と異なる事業方式の下で会を運営する諸問題があったからです。

事業の項目は従来と同じでしたが、各事業をいくつかの地区で分担するという新方式を採ったため、いろいろな問題に直面することになりました。事業ごとに、中央の本部が地区とどう関わるのか、予算は十分なのかなど杞憂と当惑の連続でした。これは私だけでなく、事務局担当理事の陸川さん、会計担当理事の森さん・遠藤さんも同じだったと思います。

しかし、「案ずるより生むがやすし」とはよく言ったものです。今、この2年間を振り返りながら、ともかくこれまでに勝るとも劣らない活動を展開できたと感じているところです。私は、昨今の短大図書館が厳しい状況にあることもふまえ、「実務に役立つ私短図協」を口にしてきましたが、事業は、その線上で一応の成果をあげ

てきたように思います。

私は、私短図協の会長と関東甲信越地区の会長を兼ねさらに日本図書館協会短大部長まで兼ねるはめになりました。私の時間と労力は不足がちでした。会長の責務を果たせたのは、ひとえに各理事をはじめとする関係者のお蔭です。この意味で、本部理事および各地区理事には深く感謝しているところです。

また、他館種の図書館員から羨ましがられた演習形式の研修会を開催した近畿地区、短大図書館に関わる貴重な研究成果や意見を掲載する研究紀要を編集発行した東海北陸地区、沖縄での取材を含む精力的な活動により会報を編集し会員に情報を流し続けた九州地区、それぞれに心から「ありがとう」と申しあげます。

新しい竹内会長のもと、この私短図協が一層の発展を遂げるよう祈ります。同時に、短大図書館員一人一人が現在の難局にくじけずに挑戦するよう期待しています。

## 平成12年度事業報告

### 1. 会勢（平成13年5月18日現在）

北海道16 東北20 関東甲信越99 東海・北陸42  
近畿65 中国・四国27 九州33 計302館

#### 新規加盟館

〈関東甲信越地区〉星美学園短期大学図書館  
〈関東甲信越地区〉植草学園短期大学図書館  
〈関東甲信越地区〉東京農業大学図書館

#### 退会館

〈北海道地区〉酪農学園大学短期大学部図書館  
〈北海道地区〉稚内北星学園大学短期大学部図書館  
〈北海道地区〉北海道浅井学園大学・短期大学部図書館  
〈関東甲信越地区〉松蔭女子短期大学図書館  
〈関東甲信越地区〉嘉悦女子短期大学図書館  
〈関東甲信越地区〉中央商科短期大学図書館  
〈関東甲信越地区〉大妻女子短期大学短期大学部図書館  
〈関東甲信越地区〉文京女子短期大学英語英文学科図書館  
〈東海・北陸地区〉金沢学院短期大学図書館  
〈近畿地区〉兵庫大学附属図書館  
〈近畿地区〉大手前女子短期大学図書館  
〈近畿地区〉神戸松蔭女子学院短期大学図書館

〈近畿地区〉樟蔭女子短期大学附属図書館

〈近畿地区〉光華女子短期大学部図書館

〈近畿地区〉聖母女学院短期大学図書館

〈近畿地区〉姫路学院女子短期大学図書館

〈近畿地区〉関西国際大学短期大学部メディアセンター

〈中国・四国地区〉梅光女学院大学短期大学部附属図書館

〈九州地区〉宮崎学園図書館

〈九州地区〉鹿児島短期大学付属図書館

### 2. 平成12年度全国理事会

日 時：平成12年5月25日（木）13：30～17：30

場 所：日本図書館協会会館 5階第一会議室

平成11年度の本部及び各地区事業報告の後に、総会議題の検討を行った。その後、懇親会を開いた。

### 3. 平成12年度総会

日 時：平成12年5月26日（金）13：30～14：30

場 所：第二丸善ビル3階会議室

出席館 34館 委任状 229館 計263館

議題

①平成11年度事業報告を承認

②平成11年度決算報告及び監査報告を承認

- ③平成12年度本部役員の一部交代を承認
- ④平成12年度事業計画案を承認
- ⑤平成12年度予算案を承認
- ⑥平成13・14年度の会長及び各業務の担当地区を承認

#### 4. 平成12年度短期大学図書館全国研修会

近畿地区担当

日 時：平成12年 8月30日（水）～31日（木）

場 所：大阪女学院短期大学

参加者：73名

テーマ：参考業務とインターネット

第1日

講演「短期高等教育の動向と準学士課程教育」

講師：関根秀和氏（大阪女学院短期大学学長）

基調講演「デジタル世界と図書館」

講師：榊原吉郎氏（京都市立大学名誉教授）

講演「多文化サービスとレファレンス」

講師：山田伸枝氏

（国際交流基金関西国際センター図書館）

演習「インターネット演習」

講師：濱岡賢二氏（大阪信愛女学院図書館）

講師：渡辺智康氏（プール学院大学図書館）

第2日

演習 講師：山田伸枝氏

#### 5. 「短期大学図書館研究」第20号の発行

東海・北陸地区担当

平成12年 7月31日発行

内容：特集「短期大学図書館の今……」、一般論考、  
全国研修会報告、その他  
加盟館配布

#### 6. 「会報」

九州地区担当

No.47（平成12年 7月）、No.48（平成13年 2月）の発行  
内容：No.47 総会関係、事務局報告、地区活動報告、  
新規加盟館紹介

No.48 研修会関係、事務局報告、地区活動報  
告、新規加盟館紹介

加盟館配布

#### 7. カルチャー・ジャパンへの委託保管資料実地調査

平成12年 8月24日（木）

会長、事務局が横浜・山下埠頭の倉庫に赴き調査した。

#### 8. 地区活動への助成

東海・北陸地区への刊物に対し、出版助成金を交付  
した。

また、「短期大学図書館研究」第21号編集委員会開催  
費を援助した。

#### 9. 平成12年度業務担当者連絡会議

日 時：平成12年12月 7日（木）13：30～17：00

場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

出席者：本部役員 3名、会報、研修、紀要各担当者 5  
名 計 8名

#### 10. 本部役員会の開催

平成12年度は 5回の役員会を開催した。

## 平成13年度事業計画

#### 1. 全国理事会の開催

日 時：平成13年 5月23日（水）13：30～17：00

場 所：日本図書館協会会館 5階第二会議室

#### 2. 総会の開催

日 時：平成13年 5月24日（木）13：30～17：00

場 所：第二丸善ビル

総会の後に、同会館において、講演会及びセミナー・  
見学を行う。

#### 3. 私立短期大学図書館全国研修会の開催

中国・四国地区担当

日 時：平成13年 9月13日（木）から14日（金）

場 所：安田女子短期大学

テーマ：インターネットによる参考業務

#### 4. 「短期大学図書館研究」第21号の発行

近畿地区担当

平成13年 6月発行予定

特集「21世紀にふさわしい短期大学図書館を求めて」、  
一般論考、全国研修会報告

#### 5. 「会報」No.49、No.50の発行

北海道地区担当

平成13年 7月、14年 2月発行予定

#### 6. 業務担当者連絡会議の開催

#### 7. 地区活動の促進

#### 8. 功労者表彰の検討

#### 9. 本部役員会の開催

## 私立短期大学図書館協議会 平成12年度会計決算

(収入の部)

単位：円

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考
会費収入	4,785,000	4,755,000	△ 30,000	317館×15,000円
研修会参加費	925,000	1,015,000	90,000	加盟館58名、非加盟館9名、情報交換会53名 他
戻入金		3,660	3,660	前年度仮払金（金沢学院）
賛助会費収入	200,000	220,000	20,000	9社
出版物売上収入	250,000	249,920	△ 80	紀要 120部、総覧 2部
雑収入	1,000	1,844	844	預金利息（三和銀行 他）
前年度繰越金	3,323,716 (600,000)	3,323,716 (600,000)	0	( ) 内は、前年度繰越金の内数で記念事業積立金
合計	9,484,716	9,569,140	84,424	

(支出の部)

勘定科目	予算額	決算額	差異	備考	
事業費	年次総会	120,000	55,650	64,350	会場使用料、コピー代
	研修会	1,300,000	1,196,313	103,687	近畿地区
	会報	400,000	227,005	172,995	第47、48号 各600部、担当館出張費 他
	紀要	1,500,000	1,245,979	254,021	第20号 500部、編集委員会援助費 他
	広報費	200,000	0	200,000	
	功労者表彰費	100,000	0	100,000	
地区交付金	1,595,000	1,585,000	10,000	317館×5,000円	
地区助成金	800,000	760,000	40,000	7地区×100,000円、出版助成金	
I F L A 会費	40,000	40,000	0		
会議費	全国理事会	300,000	82,570	217,430	会場使用料、懇親会費 他
	業務連絡会	350,000	370,050	△ 20,050	会場使用料、日当、旅費、懇親会費、宿泊費 他
運営費	交通費	300,000	120,000	180,000	業務担当館
	事務局費	200,000	120,000	80,000	業務担当館
	消耗品費	80,000	3,167	76,833	
	通信費	200,000	176,120	23,880	名簿発送費、切手・葉書代 他
	資料管理費	100,000	74,844	25,156	紀要、総覧等残部 他
	雑費	80,000	3,545	76,455	振込手数料
予備費	919,716	0	919,716		
記念事業積立金	900,000	0	(900,000)	( ) は次年度繰越金の内数	
次年度繰越金		3,508,897	△ 3,508,897		
合計	9,484,716	9,569,140	△ 84,424		

以上の通り相違ありません。

平成13年4月16日

監査人 竹内紀吉

安部良子

## 私立短期大学図書館協議会 平成13年度予算

(収入の部)

単位：円

(支出の部)

単位：円

勘定科目	予算額	備考
会費収入	4,530,000	302館×15,000円
研修会参加費	1,000,000	加盟館60名、非加盟館10名、 情報交換会50名 10社
賛助会費収入	200,000	紀伊国屋書店買上(紀要)
出版物売上収入	250,000	預金利息
雑収入	1,000	( )内は、前年度繰越金 の内数で記念事業積立金
前年度繰越金	3,508,897 (900,000)	
合計	9,489,897	

勘定科目	予算額	備考
事業費	年次総会 100,000 研修会 1,300,000 会報 300,000 紀要 1,600,000 広報費 200,000 功労者表彰費 100,000	会場使用料 他 中国・四国地方 第49、50号 第21号、編集委員会援助費 検討するための経費
地区交付金	1,510,000	302館×5,000円
地区助成金	800,000	7地区×100,000円 他
IFLA会費	400,000	
会議費	全国理事会 200,000 業務連絡会 400,000	会場使用料、懇親会費 他 業務担当館
運営費	交通費 200,000 事務局費 200,000 消耗品費 50,000 通信費 200,000 資料管理費 100,000 雑費 50,000	業務担当館 業務担当館 紀要(短期大学図書館研究)、総覧残部 他
予備費	939,897	
記念事業積立金	1,200,000	次年度へ繰り越し
合計	9,489,897	

# 事務局報告

### ■ 平成13年度私立短期大学図書館協議会

#### 役員名簿

#### 〈本部役員〉

会長	竹内 紀吉	(千葉経済大学総合図書館)
理事(事務局)	石川 亮	(桜美林大学・桜美林短期大学図書館)
理事(会計)	大田 邦宏	(共立女子大学・共立女子短期大学図書館)
監査	海後 陽三	(青山学院女子短期大学図書館)
監査	上山 淳	(青葉学園短期大学図書館)
〈名誉会長〉	安部 壘巳	
〈顧問〉	鈴木 英二	
〈地区理事〉		
北海道地区	豊島 輝彦	(札幌大谷短期大学図書館)
—会報—		
担当:	高砂 慶	

東北地区	辻 昭子	(青森みの星短期大学図書館)
担当:	横山和可子	
関東甲信越地区	石川 亮	(桜美林大学・桜美林短期大学図書館)
東海・北陸地区	大塚知津子	(瀬木学園図書館愛知みずほ大学短期大学部)
担当:	三田村寿子	
近畿地区	谷口 幸男	(大阪学院大学図書館)
—紀要—		
担当:	中村 保夫	
中国・四国地区	蔵野 嗣久	(安田女子短期大学図書館)
—研修—		
担当:	岡本 昭	
九州地区	津田 純子	(九州大谷短期大学図書館)
担当:	梅野 智美	

－報告・案内－

□「短期大学図書館研究 第21号」報告

紀要の編集に際しましては、多数の方々にお世話をおかけいたしました。御礼申し上げます。

そろそろお手元に届く頃かと存じます。是非お目をお通しください。

□「短期大学図書館研究」第22号掲載原稿について

(お願い)

今年度は、近畿地区が「短期大学図書館研究」第22号の発行業務を担当することになっております。つきましては、下記の通り、一般論稿及び特集テーマ原稿を募集いたします。奮ってご応募下さいますよう、お願い申し上げます。

1) 一般論稿

内容 ①図書館や図書館業務に関する研究論文、報告。

②短期大学図書館に関する調査・事例報告。

③書誌、文献目録、索引。

④地区研修会の内容から発展した論考。

⑤特集テーマから発展した論考。

⑥その他、図書館に関する情報・ニュース。

原稿字数 6,000字～10,000字

執筆人数 全国で4～5名

2) 特集テーマ「地域と共に生きる短期大学図書館」

内容 短期大学図書館を取り巻く状況は、ますます厳しいものとなっています。そんな中で、今後、短期大学図書館は、地域と密着した図書館活動を目指して行く必要性があるのではないかと考えます。短期大学図書館間の相互利用の充実及び大学図書館とのネットワークの強化は勿論の事、公共図書館との連携も必要になって来ると思われます。また、開かれた大学として、地域開放も重要な課題となっています。そこで、特色ある地域活動を行っている例、大学図書館や公共図書館とのネットワークの実例、地域開放の実施例、それに伴う課題や問題点、将来の展望等論文形式にこだわらず、事例やご意見を広く募集いたします。

原稿字数 900～1,200字

執筆人数 各地区2～4名

応募申込締切 平成13年7月31日

原稿締切 平成14年1月31日

投稿先 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8

大阪電気通信大学図書館 長谷部秀夫 宛

TEL 072-824-1131 FAX 072-820-4550

E-mail hasebe@isc.osakac.ac.jp

□平成13年度短期大学図書館全国研修会開催案内

新世紀はまさにIT革命とともに幕を開けた、といっても過言ではないくらい、情報に関わる世界は変化を遂げ、さらに急速な変貌をなしつつあります。このような状況を踏まえ、ここ数年の課題となっております「参考業務とインターネット」のメインテーマを今年度も引き継ぎ、副題に「その可能性をさぐる」と掲げた研修会として開催する事にしました。

1日目は、前園主計氏(私立短期大学図書館協議会前会長)による基調講演「IT技術と図書館」、中島正明氏(安田女子大学教授)による講演「図書館って何色?一色彩象徴からみた図書館の世界」、村本俊雄氏(日外アソシエーツ)による講演「インターネットでレファレンス」、および一人1台のコンピュータを使って「PCの基本操作とブラウザ操作」の研修を行います。

2日目は、村本俊雄氏の指導で「インターネット上の図書館を活用」という目的での研修を行います。演習を通じ、媒体の使い分けや情報の評価について体験し、日常のレファレンスをより充実したものにしていただくことを、目指したいと思います。

なお、1日目夕刻からの情報交換会では、図書館員の交流を広げ、日頃の疑問や各館の工夫など、図書館運営の活性化に繋がるような情報を大いに交換したいと思います。

館務ご多忙とは思いますが、皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

また、今回は初めての地方都市での開催となります。是非この機会に世界遺産でもある『原爆ドーム』『厳島神社』を有する広島へ足をお運び下さい。

日程：平成13年9月13日(木)～14日(金)

会場：安田女子大学・短期大学(広島市)

問合せ：安田女子大学・短期大学図書館 岡本 昭

〒731-0153 広島市安佐南区安東6-13-1

TEL：082-878-8578

FAX：082-878-7416

E-mail：library@nt.yasuda-u.ac.jp

## 地区活動報告

### 〈北海道地区〉

#### 1. 役員会・総会

日 時：平成13年 5月18日（金）

場 所：札幌大谷短期大学

出 席：出席館 7館 委任状提出館 9館

報告事項：平成12年度活動報告

議 題：①平成12年度決算報告

②平成12年度監査報告

③平成13年度活動計画（承認）

④平成13年度予算（承認）

⑤協議会規約の改正について

役員の特項改正を主に、併せて字句などの整備を行ってはどうかとの提案があり、審議の結果、一部修正をした上で、改正案が承認された。

⑥上記の規約改正により、辞意の申し出があった坂本顧問の辞任が了承された。

⑦脱会館について

稚内北星大学短期大学部、北海道浅井学園大学短期大学部、酪農学園大学短期大学部の脱会が報告された。

#### 2. 研修会（予定）

日 時：平成13年 8月24日（金）

場 所：札幌大谷短期大学

内 容：①講演 小林英樹氏（北海学園大学教授）  
「ゴッホと私の出会い」 10：30～12：00

②北海道大学附属図書館北分館見学  
13：30～14：00

③著作権講習会

宇野弘純氏（北海道大学附属図書館）  
「図書館と著作権」 14：00～16：00

### 〈東北地区〉

#### 1. 平成13年度全国理事会・総会への出席

平成13年 5月23日の全国理事会と、24日の総会に出席。

#### 2. 東北地区加盟館名簿の作成

#### 3. 東北地区総会と研修会について

今年度の地区総会は、秋の予定（日時未定）。現在、日程および研修会の内容について検討をしている。ただし、平成12年度の決算報告・会計監査・事業報告・平成13年度予算案・事業案については総会開催時期が

秋ということで、あらかじめ各加盟館に関連書類を送付して承認を得ている。

### 〈関東甲信越地区〉

#### 1. 会勢（平成13年 6月20日現在）99館

〈新規加盟館〉東京農業大学図書館

〈退会館〉

嘉悦女子短期大学図書館

中央商科短期大学図書館

大妻女子大学短期大学部図書館

文京女子短期大学図書館

#### 2. 総会の開催

日 時：平成12年 6月27日（火）13：30～14：30

場 所：紀伊国屋書店新宿本店 9階会議室

#### 3. 幹事会の開催

第1回 平成12年 4月25日（火）

目白大学新宿図書館

第2回 平成12年 6月15日（火）

紀伊国屋書店新宿本店

第3回 平成12年 9月 1日（金）

目白大学新宿図書館

第4回 平成12年11月28日（木）

日本図書館協会会館

第5回 平成12年12月18日（月）

目白大学新宿図書館（合同幹事会）

第6回 平成13年 1月29日（月）

青学会館（合同幹事会）

第7回 平成13年 1月29日（月）

青学会館

第8回 平成13年 3月21日（水）

目白大学新宿図書館（合同幹事会）

#### 4. 研修委員会の開催

日 時：平成12年 9月13日（水）

場 所：青山学院女子短期大学図書館

内 容：研修会打合せ

#### 5. 事務連絡会の開催

日 時：平成12年10月 2日（月）

場 所：目白大学新宿図書館

内 容：研修会開催通知と入会勧誘書の発送

#### 6. 会報の発行

第29号 平成12年 9月刊 総会関係

第30号 平成13年 3月刊 研修会関係

#### 7. 研修会の開催

日 時：平成12年11月28日（火）



場 所：日本図書館協会会館会議室  
 テーマ：短大図書館規模別モデル作成演習－  
 グループ別ケース・スタディ  
 講 師：竹内 紀吉  
 アドヴァイザー：前園 主計  
 参加者：20名（他地区協議会加盟館 3 名を含む）

## 8. その他

- ①非加盟館への入会勧誘について
- ②紀要収集についてのアンケート調査
- ③「短期大学図書館研究」第21号掲載原稿執筆依頼について
- ④近畿地区主催研修会の案内発送について

## 9. 平成13年度幹事館役割分担

会 長 石川 亮（桜美林大学・短期大学図書館）  
 事務局 大塚 宏昌（実践女子短期大学図書館）  
 浪岡 正継（実践女子大学図書館）  
 会 計 大塚 宏昌（実践女子短期大学図書館）  
 研修会 茂木 代美（共栄学園短期大学図書館）  
 永瀬美佐子（足利短期大学付属図書館）  
 稲妻地政代（関東学院女子短期大学図書館）  
 山上 良子（目白大学新宿図書館）  
 会 報 佐々木真理子（共立女子短期大学図書館）  
 茂木 代美（共栄学園短期大学図書館）  
 遠藤 恵子（明の星短期大学図書館）  
 名 簿 渡辺 恵（桜美林大学・短期大学図書館）  
 監 査 岩佐 富男（足利短期大学付属図書館）

## 〈東海・北陸地区〉

### 1. 平成12年度「会報」No.32の発行

平成13年 2月28日発行

### 2. 平成12年度第 5 回紀要編集委員会

日 時：平成13年 3月16日（金）11：45～16：00

場 所：愛知みずほ大学短期大学部

出席者：7館 11名

- 議 題：①目次の配列について  
 ②広告募集について  
 ③今後の予定について  
 ④原稿初校読み合わせ

### 3. 平成13年度第 1 回幹事会

日 時：平成13年 4月13日（金）11：45～15：30

場 所：愛知みずほ大学短期大学部

出席者：9館 13名

- 議 題：①役員の交替について

- ②平成12年度事業報告・決算および監査報告
- ③平成13年度事業計画案・予算案
- ④平成13年度総大会について
- ⑤規約改正案について
- ⑥平成13年度研修会について
- ⑦「会報」No.33について
- ⑧本部事務局輪番について
- ⑨その他

## 4. 平成13年度第 2 回幹事会

日 時：平成13年 5月17日（木）15：30～16：30

場 所：サイプレスガーデンホテル

出席者：9館 14名

- 議 題：①平成13年度総大会（5/18）運営について  
 ②平成13年度研修会について  
 ③「会報」No.33について

## 5. 平成13年度情報交換・研修会

日 時：平成13年 5月17日（木）17：30～19：30

場 所：サイプレスガーデンホテル

出席者：18館 28名

テーマ：「21世紀を迎えた短大図書館の課題と取り組み」

## 6. 平成13年度総大会

日 時：平成13年 5月18日（金）9：00～15：30

場 所：サイプレスガーデンホテル

出席者：25館 37名

（総会）

- 議 題：①会勢報告  
 ②平成12年度事業報告及び決算報告・監査報告  
 ③北陸部会平成12年度決算報告及び監査報告  
 ④平成13年度役員紹介  
 ⑤平成13年度事業計画案及び予算案  
 ⑥北陸部会平成13年度事業計画案及び予算案  
 ⑦規約改正案  
 ⑧平成13年度研修会案  
 ⑨本部事務局輪番について  
 ⑩平成14年度総大会について

（講演会）

「美術館と図書館」

講 師：名古屋造形芸術大学造形芸術学部

教授 石崎 浩一郎 氏

（見学会）

名古屋ポストン美術館

〈近畿地区〉

### 1. 幹事会

第5回 平成13年5月9日(水) 10:00~12:00

### 2. 紀要編集委員会

第1回 平成13年5月24日(木) 12:30~13:00

引継ぎ及び打合せ 15:00~17:50

### 3. 総会

日時:平成13年5月9日(水) 12:30~13:50

場所:伊丹第一ホテル

参加館:32館(44名)

挨拶:大阪芸術大学短期大学部図書館長 上野 満氏

議長選出:神戸山手大学・神戸山手女子短期大学図書館

松家栄一氏

議題:1. 平成12年度活動報告

2. 平成12年度会計報告・会計監査報告

3. 平成13年度役員

〈近畿地区〉

会長館 大阪学院大学図書館

(担当:中村保夫)

幹事館 大阪青山短期大学図書館

(担当:井澤房男)

幹事館 神戸女子短期大学図書館

(担当:津山充代)

幹事館 薫英学園図書館(担当:福田道雄)

監査館 大阪芸術大学短期大学部図書館

(担当:多賀谷津也子)

〈本部事業・紀要〉

代表館 大阪電気通信大学図書館

(担当:長谷部秀夫)

幹事館 大阪明浄大学附属図書館

(担当:佐藤智子)

### 4. 平成13年度事業計画

a. 会勢について 加盟館65館

館名変更 嵯峨美術短期大学

→京都嵯峨芸術大学附属図書館

薫英女子短期大学図書館→薫英学園図書館

大阪明浄大学・大阪明浄女子短期大学

→大阪明浄大学附属図書館

奈良佐保女学院短期大学図書館

→奈良佐保短期大学図書館

羽衣学園短期大学図書館

→羽衣学園短期大学学術情報センター

b. 研修会について

5. 平成12年度予算

6. 近畿地区協議会役員館輪番制について

7. その他 近畿地区加盟館の相互貸借の拡大  
(相互利用協定の発展)について

### 4. 研修会

#### 平成12年度第2回

日時:平成13年2月9日(金) 13:00~17:00

場所:池坊短期大学

参加者:33館44名+4館4名(関東甲信越地区)

テーマ:講演「教育目標と図書館:池坊短期大学のばあい」

講師:波戸祥晃氏(池坊短期大学教授)

見学会:【むろまち美術館、アートフォーラム、悠々、こころホール、茶道教室、華道教室、図書館】四条室町、祇園祭の鉾町という地域社会と密着した立地条件を生かし、美術館やホール等を地域社会に公開することによって開かれた大学を実践されている池坊短期大学の例や「大学コンソーシアム京都」(京都市・短大・大学)の事例をお聞きすることにより、地域に根ざした短期大学図書館の必要性を実感する研修会となった。

#### 平成13年度第1回

日時:平成13年5月9日(水) 13:50~17:25

研修会 1. 見学会 14:20~15:10 参加者:43名

場所:大阪芸術大学短期大学部伊丹学舎

【図書館、スタジオ、新聞編集室(図書館ガイドンス掲載新聞作成過程)、クリエイティブ・ワーキング・ルーム(延滞撲滅キャンペーン作品制作過程)、展示室(「ライブラリアンと仲間たち展Part II)」等】

研修会 2. 講演会(対談形式) 15:45~17:25

場所:伊丹第一ホテル 参加者:33館54名

テーマ:「雲のこと、風のこと」

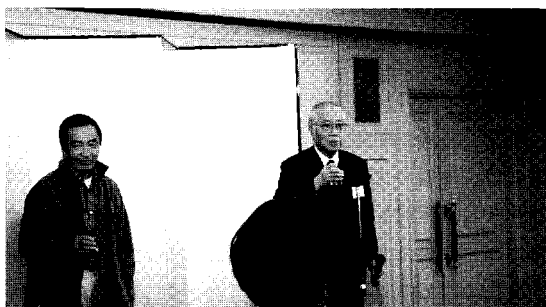


講師：浅井慎平氏（写真家・大阪芸術大学教授）

聞き手：上野 満（大阪芸術大学短期大学部図書館長）

「千葉県千倉市に設立（'91）した『海岸美術館』のコンセプトは、『美術館のある風景』をつくりたい。そこを通過する人たちに良い形の気持ちの変化（心地良い気分、来て良かった、また来たい）を与えたいということである。美術館そのものが、憩いの空間となっており、リピーターが非常に多い所以である。大学も図書館もそこに足を踏み入れただけで勉強しようという雰囲気があるということ、それが決して強制的なものではなく、ナチュラルに存在していることが必要である。図書館が図書館らしくある為にはどうすれば良いかを考え、形になって現れるように色々な工夫をしていただきたい。」と図書館へ熱いエールをお送りいただき、感動の講演会となった。

懇親会：17：30～19：00 参加者40名



〈中国・四国地区〉

### 1. 平成12年度第3回役員校連絡会議

日時：平成13年3月30日（金）14：00

場所：ノートルダム清心女子短期大学図書館

出席者：役員館3館6名

- 議題：①平成12年度事業報告  
 ②平成12年度決算報告  
 ③平成12年度監査実施  
 ④平成13年度事業計画（案）  
 ⑤平成13年度予算（案）  
 ⑥平成13年度短期大学図書館全国研修会準備委員会報告  
 ⑦平成14・15年度次期役員館に関して  
 ⑧平成14年度短期大学図書館全国研修会開催幹事校に関して

### 2. 私短図中・四国協ニュースの発行

平成13年3月30日、第18号、加盟館配布

- ハイライト：①平成13年度全国研修会に向けて  
 ②役員校図書館長のことば

### ③広島地区加盟館紹介

### 3. 全国理事会出席

日時：平成13年5月23日（水）13：30

場所：日本図書館協会会館

出席者：中国・四国理事校安田女子短期大学2名

- 議題：①平成12年度事業報告・会計報告  
 ②平成13年度事業計画案審議  
 ③平成13年度予算案審議  
 ④平成13・14年度会長及び各業務の担当地区について  
 ⑤平成15年度以降の会長推薦について  
 ⑥総会役割分担

### 4. 全国総会出席

日時：平成13年5月24日（木）13：30

場所：第二丸善ビル

- 議題：①平成12年度事業報告・会計報告  
 ②平成13年度事業計画案審議  
 ③平成13年度予算案審議  
 ④平成13・14年度会長及び各業務の担当地区について  
 ⑤平成15年度以降の会長推薦について

### 5. 平成13年度第1回役員校連絡会議

日時：平成13年6月15日（金）15：00

場所：広島文化短期大学

出席者：役員館3館7名

- 議題：①平成13年度全国理事会・総会報告  
 ②平成13年度中国・四国地区協議会総会・研修会について  
 ③平成13年度短期大学図書館全国研修会について  
 ④平成14・15年度中国・四国地区協議会次期役員館について  
 ⑤平成14年度短期大学図書館全国研修会責任幹事館について

〈九州地区〉

### 1. 総会

期日：平成13年4月19日（木）

会場：北九州市立女性センター ムーブ

当番館：九州造形短期大学図書館

出席館：25館 37名 \* 加盟館33館

欠席館：8館

- 議題：①退会館報告 宮崎学園図書館  
 鹿児島短期大学付属図書館

- ②各館紹介
- ③平成12年度事業報告
- ④平成12年度決算報告
- ⑤平成13年度事業計画案及び予算案審議
- ⑥承合事項
- ⑦協議事項

平成15～16年度には、九州地区協議会が本部業務を担当する可能性が高いので、引き受けることについて審議して欲しいとの提案があり、次年度総会の審議事項としたいとの結論で、承認された。

#### ⑧次期役員館の選出

- 1) 次期（平成13～14年度）会長館  
九州大谷短期大学図書館
- 2) 次期（平成13～14年度）幹事館  
福岡地区：福岡国際大学・福岡女子短期大学図書館

- 久留米信愛女学院短期大学図書館  
中部地区：中九州短期大学付属図書館  
長崎女子短期大学図書館  
南部地区：鹿児島純心女子短期大学図書館  
3) 次期（平成14年度）当番館挨拶  
東九州女子短期大学図書館  
4) 次期（平成14年度）九州地区大学図書館誌編集委員  
活水女子大学・短期大学図書館

（研修会）

#### 《事例発表》

「情報リテラシー支援活動」

- 鹿児島純心女子短期大学図書館 川路 孝昭 氏  
「九州地区短期大学図書館のホームページについて統計・分析と提案」  
活水女子大学・短期大学図書館 奥村 治輝 氏

## 新規加館紹介

東京農業大学図書館



世田谷キャンパスにある東京農業大学図書館本館は、同キャンパスにある短期大学部との共用施設となっています。「農学関連資料」を中心に収集し、蔵書数は57万冊を超え、学術雑誌は国内の雑誌約2,900種、海外の雑誌約1,500種を揃えています。質、量とも農学関連の図書館としては最大級との評価を受けています。コンピュータを積極的に導入し、蔵書の検索はもちろんのこと、国内・外の各種文献目録データベースをインターネットあるいはCD-ROMにより、図書館や各研究室から検索することを可能にしています。コンピュータネットワークを通じて、さまざまな情報を利用者が自由に入手できる環境を目指し、整備をすすめています。さらに、これまでに収集・蓄積してきた、江戸期以降の「農書」等の貴重なコレクション（農学の発展の歴史を知る上でも貴重な資料だと思われます）をデジタル化して、ホームペー

ジを通じて学外へ公開する計画をすすめています。

一方、自然科学分野での研究内容を正確に表現するためには、写真やスライド、CGなどの視覚的メディアの駆使が必要不可欠となります。このため、本学図書館ではユニークなスタジオ等の視聴覚設備を有し、卒論や研究発表のための写真撮影やスライド、プレゼンテーション資料作成にその場所、機材を提供するとともに専属のスタッフが技術的なアドバイス等を行っています。

「紙」の資料のみではなく、さまざまなメディアの情報を取り扱い、また、情報の受信・蓄積・利用のみにとどまらず、学内・外への情報発信基地としての機能強化をすすめています。そして、図書館・情報センター機能と視聴覚センター機能を統合的に提供し、利用者の多様な学習・研究ニーズへの対応を図っています。

#### ◆編集後記◆

新しい世紀の幕開けとともに、事務局もメンバーが一押し、新たなスタートを切りました。会報担当も、九州地区を引き継いで、これが初めての業務になります。慣れない編集作業に不安を抱えての出発でしたが、皆様のお力添えでなんとか、発行までこぎつけました。

これからも、事務局はじめ、各地区の情報を的確にお伝えし、会員の皆様の声反映するような紙面をめざして頑張りたいと思います。お気づきの点がありましたら、何でも結構です。お寄せ下さい。よろしくご願ひ申し上げます。  
(我孫子)